



JAXA筑波宇宙センターで

世界のあしたが見えるまち。

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
セキュリティ・情報化推進部 情報化基盤課 研究開発員

Chisa Yamada 山田(清水) 知佐 さん(41)

東京都生まれ。東京工業大学卒業、同大学院を経てNASDA宇宙開発事業団(現・JAXA宇宙航空研究開発機構)に入社。宇宙機に搭載する軽量高性能電池の研究開発に従事。今年6月からセキュリティ・情報化推進部に異動。研究開発を効率的にする社内の情報システムを提供する。

つくばで輝く 女性研究者

《身近だった宇宙開発》
父がNASDA職員

「父がNASDA職員で、宇宙飛行士の毛利衛さんも近所に住んでいたため、幼少期から宇宙は身近で憧れの仕事だった。宇宙飛行士を目指すため勉強だけでなくスポーツや語学の習得にも励み、初志貫徹してNASDAに入社。2008年に宇宙飛行士選抜試験に挑戦し、約1000人の応募者から約50人に絞られる二次試験まで進んだが、宇宙飛行士の夢はかなわなかった。この時に選抜された油井さん、大西さん、金井さんの活躍は自分のことのように嬉しい。」

《子ども達に夢をつなぐ》

選抜試験の翌年には長女を授かった。もう一つの夢だった「母になること」がかない、3年間の育児休暇を取得。その後、長男の誕生もあり計6年間の休職後、2015



家族とスキーを楽しむ

宇宙に憧れ 未来につなぐ



高性能電池の研究風景

で、宇宙飛行士の毛利衛さんも近所に住んでいたため、幼少期から宇宙は身近で憧れの仕事だった。宇宙飛行士を目指すため勉強だけでなくスポーツや語学の習得にも励み、初志貫徹してNASDAに入社。2008年に宇宙飛行士選抜試験に挑戦し、約1000人の応募者から約50人に絞られる二次試験まで進んだが、宇宙飛行士の夢はかなわなかった。この時に選抜された油井さん、大西さん、金井さんの活躍は自分のことのように嬉しい。」

年に復職した。現在は、夫は単身赴任。平日は1日5時間の時短勤務をしながら小学生の長女と園児の長男の育児を一人で頑張っている。「子育ては今だけだから」。小学校の図書委員や児童クラブ役員など地域の活動にも積極的に参加。機会を見つけては少しずつ宇宙を紹介している。近所の子どもたちを集め「夏休み親子宇宙工作教室」も毎年実施している。「近所のおばちゃんから宇宙の話聞くことで、少しでも宇宙を身近に感じてもらいたいとコッコッやっています。でも子どもたちに大好きな宇宙を伝えることで「楽しんでいるのは私かも知れませんね」と笑う。